

都道府県教育委員会殿
市区町村教育委員会殿
国・公・私立小学校長殿
国・公・私立中学校長殿
国・公・私立高等学校長殿

全国歴史教育研究協議会会長 仙田 直人
品川女子学院高等部校長
(前東京都立三鷹中等教育学校長)
東京都歴史教育研究会会長 川瀬 徹
東京都立東村山高等学校長
第58回研究大会実行委員長 金澤 利明
東京都立杉並高等学校長

全国歴史教育研究協議会

第58回研究大会（東京大会）のご案内

時下、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当研究協議会のために、格別のご高配・ご支援を賜りまして厚く感謝申し上げます。

さて、全国歴史教育研究協議会では、「歴史教育の今後の在り方を考える ～今からそしてここから新しい歴史学習が始まる～」を大会テーマとして第58回研究大会を、なかのZEROホールで開催することになりました。

つきましては、一人でも多くの先生方のご参加をいただき充実した大会となりますよう、公務多端の折から誠に恐縮ではございますが、貴管下関係教職員の大会参加につきまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。なお、本案内状を貴校の分校・定時制・通信制課程等の教職員の方々にもお知らせいただければ幸甚に存じます。

記

1. 期 日 平成29年7月26日（水）～7月28日（金）（28日（金）は、史跡見学です。）
2. 会 場 なかのZEROホール西館（小ホール、学習室）
3. 主 催 全国歴史教育研究協議会
東京都歴史教育研究会
4. 協 賛 東京都小学校社会科研究会
東京都中学校社会科教育研究会
5. 後 援 東京都教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部

<最寄駅>

地下鉄東京メトロ東西線・JR中央線
中野駅南口から徒歩8分

なかのZEROホール西館（小ホール、学習室）
〒164-0001 東京都中野区中野2-9-7



基本テーマ 「歴史教育の今後の在り方を考える ～ 今からそしてここから新しい歴史学習が始まる～」

I 大会日程・会場

■日 程■		9:30	10:00	11:00	13:00	17:00	17:30
7月26日(水)	受付	総会	昼食	分科会			懇親会

	9:00	9:30	12:00	13:00	14:30	15:00
7月27日(木)	受付	第1分科会(シンポジウム)	昼食	記念講演	閉会	史跡見学説明

	8:30(予定)	16:30(予定)
7月28日(金)	史跡見学	Aコース「江戸の庭園を巡る」 Bコース「東京グローバル散歩「聖地巡礼」～キリスト教の足あと～」

■会場■

なかのZEROホール西館 東京都中野区中野2-9-7

■その他■

駐車場はございませんので、公共の交通機関等でお越しください。

II 総会(7月26日 10時00分～11時00分)

III 記念講演(7月27日 13時00分～14時30分)

「印刷文化への／からの旅」

印刷文化の成り立ちをとおして、ヨーロッパ史とアジア・日本史の特異性を見出し、
歴史における両者の交流と比較の視点の可能性をさぐる。

印刷博物館館長(東京大学名誉教授) 樺山紘一 先生

IV 分科会

第1分科会(7月27日 9時30分～12時00分 シンポジウム～大会参加者全員参加)

テーマ 「新学習指導要領と歴史総合に期待するもの～これからの歴史教育を考える(思考・判断・表現力の育成)」

パネリスト

(小学校) 小倉 勝登 (東京学芸大学附属小金井小学校教諭)

(中学校) 関 裕幸 (東京都立小石川中等教育学校主幹教諭)

(高等学校) 青木 一真 (東京都立国際高等学校指導教諭)

(大学) 中村 尚史 (東京大学社会科学研究所教授)

コーディネーター 太田尾 智之 (東京都立大泉高等学校主任教諭)

第2分科会～第5分科会（7月26日 13時00分～17時00分）

第2分科会(日本史) 「新たな手法で行う歴史授業」

- 丸山 優介（東京都立三鷹中等教育学校教諭）
「ICTタブレットを活用した教育旅行事後学習実践」
- 島津 聡（東京都立八王子東高等学校主任教諭）
「プレゼンテーションと相互評価による日本史学習」
- 佐藤 慎也（東京都立小金井工業高等学校教諭）
「日常的なAL型授業実践の成果と課題～井伊直弼の人物評価・満州事変等～」

第3分科会(日本史) 「我が国の歴史の展開を総合的に広く深く探究する」

- 小村田 達也（宮城県泉館山高等学校教諭）
「歴史的思考力を育む授業を目指すー巡検・考査・アクティブラーニングー」
- 豊田 基裕（東京都立田園調布高等学校主任教諭）
「地域教材（東京都大田区）を生かす実践～新田開発と六郷用水」
- 中村 修（東京都立石神井高等学校教諭）
「浮世絵から多角的に考える江戸時代の文化と都市としての江戸の特異性」

第4分科会(世界史) 「(前近代)地理的条件や日本史と関連付けて探究する」

- 金間 聖幸（埼玉県立浦和東高等学校教諭）
「ヨーロッパ封建社会の崩壊で、なぜ国王だけが生き残ることが出来たのか」
- 鈴木 智和（都立工芸高等学校教諭）
「鉄砲伝来のルーツから考える世界の一体化と日本」
- 八木橋 朋弥（東京都立立川高等学校教諭）
「アフリカ大陸の歴史から先入観や偏見について考察する」

第5分科会(世界史) 「(近現代)現代につながる課題を多面的に考察する」

- 大木 健（東京都立科学技術高等学校教諭）
「両世界大戦間期のドイツ」
- 横田 成洋（東京都立新宿高校主任教諭）
「アメリカ独立戦争とその後の課題～現代との関連から～」
- 吉弘 雄飛（東京都立五日市高等学校教諭）
「定時制高校におけるAL型授業の実践～産業革命後の労働運動～」

V 懇親会

7月26日（水） 17時30分～19時30分（予定） 中野サンプラザ

VI 史跡見学[7月28日(金)] （1日、日帰りコース、貸切りバス使用 各コース共 8,000円）

Aコース	「江戸の庭園を巡る」 東京駅集合解散 浜離宮～イタリア大使館（伊予松山藩中屋敷）～ホテルニューオータニ（彦根藩井伊家中屋敷）～皇居周辺（昼食は楠公テラスで江戸の食）～清澄庭園・靈巖寺～向島百花園～六義園（柳沢吉保下屋敷）～小石川後楽園（水戸徳川家上屋敷） 貸し切りバス利用
Bコース	「東京グローバル散歩「聖地巡礼」～キリスト教の足あと～」品川駅集合 カトリック高輪教会～明治学院歴史資料館～元和切支丹遺跡～聖路加国際大聖ルカ礼拝堂～築地明石町～神田神保町（ランチョンで昼食）～聖書考古資料館・明治大学博物館～ニコライ堂～印刷博物館～上智大学～東京駅解散 貸し切りバス利用

大会参加申し込み要領

- 1 大会費用 5,000円 (内訳 参加費3,000円・資料代2,000円)
- 2 懇親会費 5,000円 (希望者のみ)
- 3 史跡見学費 8,000円 詳細は別紙参照 (希望者のみ)

4 申し込み方法

(1) 大会申込

全国歴史教育研究協議会のホームページ、及び東京都歴教育研究会のホームページから以下のサイトにアクセスしてください。担当旅行社の東武トップツアーズ東京教育旅行支店が窓口になります。担当 佐藤良多

- ・大会参加、史跡見学、宿泊の申込みは、すべて下記のサイトよりアクセスし、必要な手続き行ってください。
- ・大会申込サイト <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/zenrekiken58>
- ・申込先着順に受付をさせていただきます。宿泊はお部屋数が限られます。ご注意ください。
- ・申込サイトの操作については、サイト内の「申込操作案内」をご覧ください。

(2) 史跡見学

担当旅行社の東武トップツアーズ東京教育旅行支店が窓口になります。

- ・上記(1)の大会申込サイトにて、受け付けております。
- ・A、B各コースともに先着40名までとなります。

(3) 大会費用の領収書は、大会当日にお渡しいたします。

(4) 払い込まれた大会費用は、不参加の場合でも原則としてお返しいたしませんので、予めご了解下さい。

(5) 電話でのお申し込みには応じかねますので、ご遠慮下さい。

(6) 準備の都合上、参加申し込みの締め切りは 【 7月18日 】とさせていただきます。

(7) 大会に参加できない方は、年会費(2000円)の納入にご協力下さい。年会費納入の方には、『全歴研研究紀要』を送付いたします。年会費の納入には、下記6の問い合わせ先である全歴研事務局 三好にご連絡ください。

5 事務局

全歴研第58回研究大会(東京大会)事務局

【平成29年5月まで都立武蔵村山高等学校内、6月より新事務局 都立杉並高等学校へ移動】

6 問い合わせ先

〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-4-1

東京都立桜町高等学校 主任教諭 三好喜輝

TEL 03-3700-4330

FAX 03-3700-9141